天昇電気

矢吹第2工場が竣工

自社オリジナル製品専用工場

天昇電気工業㈱（本社・東京都町田市南町田5―3―65、石川忠彦社長）は、矢吹工場（福島県西白河郡矢吹町牡丹平203―6）の敷地内に自社オリジナル製品の専用工場である矢吹第2工場を建設していたが、6月に建物が竣工し、大型生産設備の設置が8月で完了したことから9月4日、関係者を招き同工場にて竣工式を開催した。

竣工式を開催

矢吹第2工場は、延床面積10、634・59㎡の鉄骨造り平屋建て（1部2階建て）で、矢吹工場敷地45、728㎡内に2019年7月から工事を開始し、今年6月30日に完工した。型締力1、300㌧機2台、1、000㌧機、850㌧機、650㌧機が各1台、450㌧機2台、180㌧機が1台の合計8台の最新鋭電動サーボ射出成形機及び電動サーボ取出機を設備しており、投資額は設備費も含め約19億円。

天昇電気の自社製品である雨水貯留浸透施設「テンレイン・スクラム」、感染性医療廃棄物容器「ミッペール」、導電性プリント基板収納ラック「テンサートラック」、導電性コンテナ「テンバコEDシリーズ」、帯電防止コンテナ「テンバコEFシリーズ」の専用工場として稼働開始している。ちなみに主な使用樹脂はPP、PE。

竣工式はまず、天昇電気から石川忠彦社長、岸田勇取締役等はじめ、三井物産㈱垣内啓志機能材料事業部長、伊藤忠プラスチックス㈱大林稔男社長、並びに建築設計会社社長、建設会社社長が出席するなか、矢吹神社小林剛宮司を斎主として竣工清祓式が行われた。

続いて竣工祝賀会に移り、石川忠彦社長が大要別掲の通り挨拶し、建築設計会社社長、建設会社社長に感謝状が贈呈された。次いで来賓の（一社）東日本プラスチック製品工業協会大野泰昭会長が、「天昇電気工業様は長い歴史がある成形加工業界でトップ企業の上場企業として著名であります。特に研究・開発を常に続けられて新技術、新製品を提供されていられますので、新型コロナに打ち勝つ製品を出されることを願っています」と祝辞を述べた。

次に来賓の矢吹町蛭田泰昭町長が、「天昇電気工業様が矢吹町の丸の内工業団地に平成3年に進出され、そして今回、第2工場を竣工されました。衷心よりお祝い申し上げるとともに、いろんな面で大いに期待しています。町としても共に生きるということで人材を提供していけるよう考えていきます。そして矢吹第2工場で生まれた製品がメイドイン矢吹と言われるようになることを期待しています」と祝辞を述べた。

矢吹第2工場

続いて三井物産プラスチック㈱森克則社長の音頭で会食、天昇電気杉山実佐夫取締役が中締めを行い、石川忠彦社長の閉会の辞でお開きとなった。

最大級の新工場

石川忠彦社長の挨拶――

矢吹第2工場は令和元年（2019年）9月に起工式を行い、今年6月30日に完工しましたが、矢吹工場が竣工稼働開始したのが平成3年（1991年）ですので、30年ぶりの新工場建設となります。自社オリジナル製品の専用工場を建設するのが長年の悲願でしたが、この第2工場が竣工したことにより、最大級の新工場が完成致しました。

挨拶する石川忠彦社長

自社製品には、雨水貯留浸透施設「テンレイン・スクラム」、感染性医療廃棄物容器「ミッペール」、導電性コンテナ「テンバコEDシリーズ」、帯電防止コンテナ「テンバコEFシリーズ」がありますが、矢吹第2工場ではテンレイン・スクラムとミッペールを主力に、人々の生活を支え環境に配慮した製品をこの矢吹町で生産し、国内及び海外へお届けしていきます。

今後とも「皆様に信頼されるメーカーとして、お客様のメリット追及に不断の努力を」を指針として進んでまいります。

雨水貯留浸透施設や感染性医療廃棄物容器など

天昇電気のオリジナル製品

天昇電気が同社の技術力のもと新たな価値をプラスしたTENSHOオリジナル製品の「テンレイン・スクラム」（雨水貯留浸透施設）、「ミッペール」（感染性医療廃棄物容器）、「テンサートラック」（電子部品実装機対応導電性ラック）などの主な特長は次の通り。

【テンレイン・スクラム】従来の雨水貯留浸透施設の組み方と異なる独自の工法を採用しており、〝テンレイン・スクラム工法〟として2018年2月に公益社団法人雨水貯留浸透技術協会より技術評価認定を受けている。1㎡あたりの樹脂量を低減して最大96％を超える業界トップクラスの空隙率を誇り、簡単に施工ができるのが特長。近年多発している集中豪雨の際に河川や下水処理施設の処理能力を超えた雨水の流出を防止する方法として需要が高まっている。

テンレイン①

テンレイン①を2つ組合わせ②

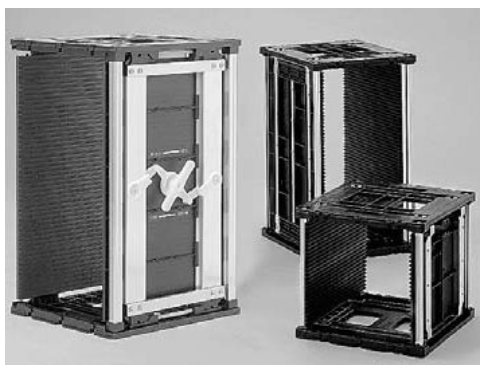
テンレイン②を組合わせ

【ミッペール】医療機関での感染性医療廃棄物や感染性一般廃棄物などの専用容器で、臭い漏れや液漏れなどに対応した設計と注射針などが貫通し難い強度を持つ。運搬時の安定した積載性能を発揮し、さらには焼却時に有害物質を発生しないなど、品質や環境面、すべてにおいて安全性の高い容器として認められている。

【テンサートラック】FAラインに最適な導電性プリント基板収納ラック。デリケートな電気産業やその他あらゆる分野で、静電気破壊や静電気による塵埃で品質が損なわれることのないよう、ポリプロピレンに特殊導電カーボンをブレンドした特殊素材を使用しており、基板のサイズに合わせて調整可能なスライド方式。非導電タイプや耐熱タイプなどがある。

【テンバコEDシリーズ（導電性コンテナ）】プリント基板・電子部品・液晶等を静電破壊から守る静電気除去ボックス。PPに導電材を特殊配合した材質で、表面抵抗値は10^{6}Ω以下。半永久的に導電性を保持し湿度の影響をほとんど受けない。また弾力性、耐食性に優れ、積み重ね式のため荷崩れの心配がない。

ミッペール


テンサートラック

【テンバコEFシリーズ（帯電防止コンテナ）】半永久静電気防止の樹脂（PP、ABSベースの新素材）を応用した静電気対策ボックス。表面抵抗値が10^{11}～10^{13}Ω／㎝が要求される分野に有効。